

式を作り上げた 成人式スタッフ の皆さん



受付
各町に分かれて新成人が受け付けました



司会
田中光明さん
齊藤ちひろさん



開式のことば
前田涼さん



抽選会司会
菅本成明さん
横田大輝さん

三豊市では、より心に残る成人式にするため、新成人に式の企画・運営に参加してもらっています。今回は13人の成人式スタッフが、この日のために9月から式典の役割分担やイベントの内容を話し合い、準備を進めてきました。当日は、それぞれが役割を果たし、見事に式典は成功。自分たちで作上げた成人式には思い入れもひとしおです。スタッフの皆さん、お疲れさまでした。



▲成人式スタッフの皆さん



▲成人証書授与。河田将弥さんと堤小葉さんが新成人を代表して受け取りました



▲20歳のメッセージでは、新成人がこれからの抱負や夢を発表しました

20歳のメッセージ



▲犬井美里さん「社会へ踏み出すことは自分で責任を負うことになります」



▲藤田鈴香さん「感謝の気持ちを忘れずに、価値ある日々を送りたいです」



▲船木光善さん「支えられる側から支える側にならなければいけません」



▲懐かしい恩師からのお祝いの言葉を受けて、笑顔を見せる新成人



▲式典終了後には、成人式スタッフが企画した抽選会が開催されました



平成29年 三豊市成人式



支えてくださっている
方々への感謝を忘れず、
自分の可能性を信じて
未来に向かって
歩んでいくことを
ここに誓います

▲新成人謝辞

三豊市の未来を担う 617人が新たな門出

三豊市成人式が1月8日、マリノウエーブで開催され、新成人617人のうち、513人が参加しました。晴れ着に身を包んだ新成人は、ふるさと三豊で新たに大人の仲間入りを果たしました。

式典では、横山市長が「家族やふるさと三豊への感謝を胸に、今後成長し、活躍されることを期待しています」と激励。これを受けて新成人代表の宮崎亜美さんは、「自分の夢や目標に向かって日々精進し、私たちが育った三豊市に恩返しできるような大人になります」と謝辞を述べました。

大人としての自覚を胸に、希望溢れる明日へと歩み始めた新成人の皆さん。輝く未来にふさわしい式典となりました。

成人証書と記念品を送ります

成人式に出席した新成人に、2月下旬ごろ、成人証書と記念写真、式典DVDを送付します。

▼問い合わせ
生涯学習課 ☎73・3135



これから親孝行していきます!



親に感謝しながら幸せになる!

2人そろって、憧れの看護師に!



すてきな大人になりたいな♪



自分に関わってくれた全ての人に、これから恩返ししていきます



お金を稼いで、生活を充実させる!



高校で化学の楽しさに気がきました。将来、工学博士を目指しています!

大学で油絵を学んでいます。卒業後は地元で作品づくりをします



就職したら、人の役に立つ製品を開発したい



周りの人を幸せにできる大人になる



デザイナーとしても成功する!



今、車掌の仕事をしています。お客さんに最高のおもてなしをしていきたいです



ここまで育ててくれた親に感謝したいです



夢はシンガーソングライターとしてデビューすること



立派な社会人になりたいです



自分の会社を立ち上げて日本一のお金持ちになる☆



今年の箱根駅伝で国士館大学の4区を走りました。来年、もう一度出場してリベンジを果たします!



成人として恥ずかしくない行動と言葉使いを心がけます

社会人としての自覚を持って行動します



今まで以上に努力して仕事に励みたいです



新成人に聞いた

大人の仲間入りを果たしたので、気持ちを新たに頑張ります



ハタチの決意

成人式という節目を迎えた今、将来の自分に向けた思いを答えてもらいました。

ハタチ、叶えたい夢がある。

夢を抱いた新成人が、憧れの職業で頑張る先輩に夢への道筋を聞いてきました

田中光明さんが教師の夢を抱いたきっかけは、小学校5・6年生の担任、奥田昌史先生との出会いにありました。その恩師、奥田先生が勤める財田小学校で、教師の道へのアドバイスをもらいました。

田中さん 奥田先生は当時から話しやすく、僕も先生のように何でも話せる教師になりたいと思っています。

奥田先生 話しやすい先生になるには、こちらからどんどん話しかけることが大事だね。話をするのが苦手な子には、様子を見ながら接していくようにして、子どもを一人ひとり見ていると、この子にはこんな話しかけ方がいいんだ、ということが見つかっていくよ。

田中さん 今、授業以外の学校の仕事も学びたくて、学校支援ボランティアに参加しています。授業のサポートや丸付けなどを手伝っています。

奥田先生 それはとても良いことだね。学校の雰囲気を感じながら、いろいろな子どもを見て話をすることができるといい。周りの先生にも積極的に話を聞いてみて。こういう経験が教育現場に出たときの適応力につながると思うよ。

田中さん そうなんです。最近、模擬授業をして、大学の先生からの厳しい指導に落ち込んでしまうことがありました。先生もそんな経験はありますか。

奥田先生 今でも指導案を書いたら、校長先生や教頭先生に直してもらっているよ。教えてもらえないのは良いこと。それで分らないところははいっぱい聞く。その上で次は少しレベルを上げたものを目指せばいいんだから。今は下を向かず前向きに進んでいってほしいよ！

田中さん 先生のおかげでやる気が出てきました！一つずつ経験を積んで、教師の夢に向かっていきたいと思っています。

幼い頃から看護師の仕事に憧れ、現在は専門学校で勉強中の**前田千里さん**。今回は前田さんの従姉・西山直子さんが看護師として働く橋本病院を訪れ、宮本副院長と西山さんに看護師の仕事の極意を伺いました。

前田さん 私は将来、信頼される看護師になりたいと思っています。そのためには、どんなことを心がけたらいいですか。

西山さん 私たちは患者さんや自分の家族のように大切な存在だと思って接しています。どんなときも、どうしたらその人のために一番良いのかということを考えていますね。

宮本副院長 看護師は担当になった患者さんの看護計画を立て、病状が変わったらプランの見直しをしていきます。そのときに、患者さんのことを一生懸命に考えることが大切です。それが信頼につながります。

前田さん 実習中に困ったのが、あまり話をしてくれない患者さんの担当になったときでした。そのような患者さんにはどう接していますか。

西山さん 患者さんの目を見てコミュニケーションを取り、何度も話しかけること。それを積み重ねていくと、心を開いてくれますよ。言葉遣い一つで患者さんの受け取り方も変わるので、どのような声掛けをしたらいいか、日々接していくなかで気を配ることも大事です。

宮本副院長 時間をかけて、患者さん一人ひとりに合わせた接し方を見つけていくことですね。前田さんには、学生の間に多くのことを見聞きしてほしいと思います。それが看護師になったときの肥やしになりますよ。時々、くじけそうになるかもしれませんが、先輩たちも乗り越えてきた道ですから大丈夫！

西山さん “自分は向いていない”と思うときがあっても、それは患者さんや病院に慣れていないだけなんですよ。

宮本副院長 最初からできる人はいないですからね。今は学生生活を十分に楽しんでください。**前田さん** はい。学生のうちにたくさん吸収して、将来、お二人のようなすてきな看護師を目指します！



“夢は教師!!”
田中光明

財田小学校
奥田昌史先生

ハタチ
田中光明さん
(財田町)



“信頼される看護師になる”
前田千里

医療法人社団和風会
橋本病院
看護師 西山直子さん

ハタチ
前田千里さん
(仁尾町)

医療法人社団和風会
橋本病院
副院長 宮本美恵子さん

将来、自身のお店を開くことを目指して、調理の専門学校に通っている吉田珠歩さん。仁尾町でカフェを営む、佐々木志津さんに飲食店オープンまでのプロセスを尋ねました。

吉田さん いつから、飲食業のお店をしたいと思うようになりましたか。そこから夢を叶えるまでに、何年かかりましたか。

佐々木さん 私には学生のころから、「人を幸せにしたい」という思いがありました。その道を探すために20歳でオーストラリアへワーキングホリデーに行つたんです。そこで1年間、飲食業や接客業のアルバイトをする中で仕事の楽しさと、日本にはおいしい食べ物がたくさんあることに気付きました。お客様さんにおいしい料理を出してあげたい！その思いが湧き上がり、日本に帰ってから調理師免許を取りました。さまざまな飲食店で10年間の修業を積み、この場所で12年試行錯誤して、やっと今、方向性が見えてきたところなんです。

吉田さん では、これから挑戦したいことは何ですか。

佐々木さん 多くのお客様に満足してもらえるメニューを考えることです。地産地消をテーマにした店なので、地元の食材を生かしながら、旬を取り入れたオリジナリティのあるメニューを作っていきたいと思っています。毎日が勉強で、毎日が挑戦です。

吉田さん 今はどんなお店を目指していますか。

佐々木さん お客様が自由に過ごせて、喜びや癒しを感じてもらえる空間にしたいと思っています。

吉田さん 私もそんなお店を作るのが目標です。その場で作り立ての料理を提供したり、調理中のパフォーマンスを見て楽しんでもらえるようなお店にしたいです！

佐々木さん オリジナリティを感じられるお店にしたいですね。急がず焦らず、吉田さんの興味や個性を探っていくてください。あとはチャレンジ。チャレンジですよ！

吉田さん そうですね。佐々木さんのように挑戦する気持ちを忘れずに前進しながら、きっと夢を叶えます！

宮崎亜美さんと堤小葉さんは、小さいころ通っていた幼稚園・保育所の先生が大好きだったことから、保育者を目指し始め、現在専門学校に通っています。今回は、そのきっかけとなった堤さんの出身保育所、高瀬中央保育所へ。若手の先生2人に仕事のこと、学生時代のことを聞きました。

堤さん 実際に働いてみて、学生時代に学んだこととギャップを感じることはありましたか。

三木先生 学生時代は年長の子どもと関わるが多かったのですが、初めて1歳児の担当になったときは驚きの連続でした。0〜5歳児まで、それぞれの対応の仕方をあらかじめ把握しておけば良かったなと思います。

上内先生 私は事務の大変さを実感しました。これも子どもを見るのと同じくらい大切な保育士の仕事なんだなと。ワードやエクセルも使えるように、慣れておいたらいいですね。

堤さん 今度、実習があります。前回の実習では、3歳児を担当しましたが、急にけんかが始まって困ることがありました。どう対応したらいいですか。

上内先生 3歳児になると、自分の思いを言葉で伝えられるようになり、まだ子どもたちだけで解決するのは難しいので、保育者がそれぞれの言い分を聞いて仲立ちしてあげることが必要です。それを繰り返していくと、相手にも気持ちがあるというのを理解してくれます。

宮崎さん 学生のうちに経験しておけば良かったことはありますか。

三木先生 ボランティアに参加するなど、子どもと関わる機会をもっと作っておけば良かったですね。保育現場では、いろいろな場面での対応が求められるので、経験の積み重ねが落ち着いた対応につながると思います。

上内先生 手遊びやピアノのレパートリーを増やしておくのも良いですね。

宮崎さん これからレパートリーを増やせるよう、手遊びの勉強をしていきたいです。今日は、普段なかなか聞けないお話を聞くことができて良かったです。

堤さん 私もアドバイスを参考にしたいです。まずはパソコン操作に挑戦したいと思います。



“地元でも愛される
カフェ or ケーキ屋さん♪”
吉田珠歩

ハタチ
吉田珠歩さん
(詫間町)

サンリゾート仁尾
店長 佐々木志津さん

頑張れ、新成人！
20歳。この時期には、夢を見据えて努力する人、進むべき道を模索する人、さまざまな状況の人がいます。しかし、どちらにしても、これから挑戦できる年齢です。三豊市は、新成人の皆さんが将来自分の望んだステージで活躍してくれることを期待しています。そして、そのステージがふるさと三豊であればなお嬉しいことです。自分を信じて、未来に向かって突き進んでください。



“子どもたちに憧られる先生になりたい”
宮崎亜美

“子どもだけでなく、地域の人や保護者からも信頼される保育者になる”
堤小葉

ハタチ
高瀬中央保育所
三木萌子先生

ハタチ
堤小葉さん
(高瀬町)

ハタチ
宮崎亜美さん
(山本町)

高瀬中央保育所
上内理子先生